

平成 22 年 2 月 4 日

2 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

○ 所長の高橋でございます。本日、私からは、3 点申し上げたいと思います。

○ まずは、「6 号機の営業運転開始」についてです。

6 号機につきましては、昨年 8 月 26 日に原子炉を起動、8 月 31 日に発電を開始し調整運転を続けてまいりましたが、1 本の制御棒の位置表示機能に不具合が発生したことから、万全の状態での総合負荷性能検査を受検するため、12 月 26 日に原子炉を停止し、不具合が確認された制御棒位置検出器を予備品に交換し、他の制御棒を含めて制御棒の動作および位置表示機能が健全であることを確認しました。

その後、1 月 8 日より発電を再開し、調整運転を続けてまいりましたが、1 月 19 日に経済産業省の総合負荷性能検査を終了し、営業運転を再開いたしました。

地震発生からこれまでの間、地域の皆さまをはじめ、多くの方々より貴重なご意見、ご支援ならびにご指導をいただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

6 号機につきましては、現在運転中の 7 号機同様、今後も安全を第一として運転を行うとともに、他号機も含め引き続き安全で災害に強い原子力発電所となるよう全力で努めてまいります。

○ 2 点目は、「1 号機と 5 号機の系統機能試験」についてです。

1 号機と 5 号機につきましては、現在、系統レベルの健全性確認を実施しており、これまでに、1 号機は 31 項目中 27 項目、5 号機は 29 項目中 22 項目の試験について評価が完了いたしました。

また、1 号機につきましては、2 月 12 日までに残りの系統機能試験を全て実施し、その後、速やかに評価を行う予定です。

当発電所といたしましては、今後も計画的に系統機能試験を実施し、その評価結果を国や県の委員会等に報告するとともに、定期的に進捗状況をお知らせしてまいります。

○ 3点目は、「排水配管の誤接続に関する指示文書受領」についてです。

当社原子力発電所における放射性廃棄物処理系排水管の誤接続につきましては、調査結果および対策等を最終報告書としてとりまとめ、2月2日に経済産業省原子力安全・保安院へ提出いたしました。また、同日、同院より、本件は技術基準および保安規定に関する不適合であり、根本原因の究明と再発防止対策の策定を求める旨の指示文書を受領いたしました。

当発電所では、昨年12月7日に原子力安全・保安院ならびに新潟県へ報告したとおり、1号機と5号機の排水配管計4箇所にて誤接続があり、これらによる外部への放射能の影響はないことを確認しております。また、当該の4箇所については、配管を改造して適切な系統に接続する工事を完了しております。

当社といたしましては、このたびの指示を真摯に受け止め、放射性廃棄物処理系排水管の誤接続について、根本的な原因究明と再発防止対策を策定し、改めて同院へ報告いたします。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成22年2月)

平成22年2月4日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況														補足説明
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14~H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止														
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3~H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止														
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12~H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止														
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9~H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止														
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4~H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止														
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	運転中	第8回 H19.5.24~H22.1.19 定検停止期間:H19.5.24~H21.8.31 (831日) H21.12.26~H22.1.8 (14日) (原子炉起動H21.1.6)	第8回定検による停止														【6号機】 ・平成22年1月19日 営業運転再開。(お知らせ済み)
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第8回 H19.11.15~H21.12.28 定検停止期間:H19.11.15~H21.5.20 (553日) H21.9.25~H21.11.10 (47日) (原子炉起動H21.11.8)	第8回定検による停止														

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (1月末現在)

1月	29.5%
21年度累計	18.5%
運転開始後累計	66.2%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (1月末現在)

1月	180,255
21年度累計	1,116,648
運転開始後累計	81,308,485

④ ドラム缶発生量(本) (H21年度第3四半期)

当期発生本数	949
貯蔵庫累積貯蔵本数	27,443
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (H21年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,664
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 構内従業員データ(人) (2月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	850	2,947	43%
	刈羽村	85	321	5%
	その他	96	1,391	17%
	小計	1,031	4,659	64%
県外		112	3,066	36%
合計		1,143	7,725	—
		8,868		100%
協力企業社数(社)		942		

※「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

⑦ 来客情報(人) (1月末現在)

	1月	年度累計
地元	719	13,101
県内	678	12,428
県外	676	29,393
国外	6	426
合計	2,079	55,348

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
2月13日	いんのこまつり(き・な・せ)
2月19・20日	料理教室(東北電力(株)柏崎営業所 クックブラザ)
3月11日	次回定例所長会見予定
3月14日	ミュージックライブ アット カムフィー(カムフィー) ジャズライブ「小川美紀&小川富士雄と仲間たち」
3月18日	シェイプアップボディエクササイズ(柏崎エネルギーホール)
3月18・19日	第139回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
3月22日	とうでん 今.話.会(柏崎市民プラザ 海のホール) 「食育のすすめ ~大切なものを失った日本人~」

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成22年2月4日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	1月19日	2号機	タービン建屋におけるけが人の発生について (区分Ⅲ)	—
②	1月19日	1号機	タービン建屋におけるけが人の発生について (区分Ⅲ)	—
③	1月25日	4号機	電力ケーブル洞道換気空調機室におけるけが人の発生について (区分Ⅲ)	<p>(事象の発生状況) 平成22年1月25日午前10時50分頃、4号機の電力ケーブル洞道換気空調機室（非管理区域）において、制御ケーブル修理工事を実施中の協力企業作業員が、現場に設置されている洞道入口扉上部スペース（幅：約1.7m×奥行き：約2.4m）で制御ケーブルの布設作業を行っていたところ、バランスを崩して高さ約2.5mから落下し、腰および臀部を強打したことから、救急車にて病院に搬送しました。</p> <p>(対応状況) 診察の結果、第4腰椎破裂骨折と診断されています。 今回の事例を当社社員や協力企業に対して周知し作業安全に努めます。 <u>なお、再発防止対策については現在検討中です。</u></p>
④	1月25日	5号機	使用済燃料プール（管理区域）における異物の発見について (区分Ⅲ)	<p>(事象の発生状況) 当所5号機原子炉建屋4階の使用済燃料プール（管理区域）において、平成22年1月24日より使用済燃料の燃料番号の確認作業を実施していたところ、使用済燃料の上部に、異物らしきもの1個（長さ：約3cm 直径：約0.3cm）を発見したことから、水中ポンプで回収し、1月25日午前10時15分に金属製の異物であることを確認しました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>(対応状況) 回収した金属製の異物を確認した結果、足場等を固定する針金の切れ端であると推定しています。また、炉心および他の使用済燃料上部に同様の異物が無いことを確認しました。 今後とも引き続き、異物混入防止の強化を継続します。</p>